地域情報誌

和合

No.134
2020.5.15

題字：三浦修次

主な掲載記事

和合探訪 ……2
畑にこんにちは ……3
わたしから見た和合の里 ……3
はやぐおっきぐなれの～！ ……4
人生１００年時代 ……5
わごう駐在所 ……5
和合の里ＩＮＦＯＲＭＡＴＩＯＮ …6

和合探訪

－和合のルーツ
ここにあり！－

南野編

南野のルーツをたどると、元は明石村と称して、現在の連枝の西方にありましたが、今からおよそ４００年前、北楯大堰の開削により現在の地を永住の地と定めて開墾に着手したのが始まりとされ、元和元年（１６１５年）の開村と伝えられています。

６年前の平成２６年８月の例大祭において、集落の開村と皇大神社の創建４００年を記念して、南野皇大神社４００年祭が盛大に執り行われ、記念事業として住民等の寄付により記念碑の建立をはじめ、神門（仁王門）の改修や本殿・観音堂の塗り替え等の大規模な整備が行われました。

また、仁王門改修の際に偶然見つかった、天保１２年（１８４１年）に制作されたと言われる一対の板彫仁王像が、この年、東北古典彫刻修復研究所における修復を終えて当時の形状に見事に蘇り、遷座祭の後、一般に公開されています。

▲阿形像（右）と吽形像（左）
庄内町指定文化財（平成25年7月23日指定 皇大神社 所有）

旧大和村役場庁舎の面影を残す公民館

平成１７年に平成の大合併により庄内町となりましたが、昭和の合併以前のかつての大和村時代の南野集落は、行政や経済の中心地として、村役場や農協などの公共機関が置かれました。

現在の南野公民館は、大和村役場庁舎の後、余目町役場東出張所を経て、昭和４４年に町より譲与されました。２階の大広間は、大和村役場時代に議場として使用された部屋で、演壇や天井は当時の面影を残しています。

▲入居が始まった子育て応援住宅A棟とB棟

▶道路工事に伴い移設した旧大和小校門

若者の移住･定住と子育て環境の整備が進む南野地区

現在、集落内に庄内町子育て応援住宅が完成し、またその隣に児童遊園の整備が進んでいます。

子育て応援住宅の建設地となった東部運動場は、旧大和小学校のグラウンドであったところです。

かつては校庭いっぱい児童の元気な声が響き渡っていた場所に、閉校から４３年の時を経て、次の世代の担い手となる子供たちを育む施設が整備されることとなったのも何か不思議な縁を感じます。

南野自治会として、入居者をスムーズに受け入れることができるよう、昨年１月から自治会役員や各種団体の代表者で構成する検討委員会を立ち上げ、会費の在り方を初め自治組織や公民館の名称の見直し等の様々な課題について幅広い視点で検討してきました。それらの意見については、３月１日（日）開催した通常総会において決議された、自治会規約の一部改正及び本年度予算の中に反映されています。

畑にこんにちわ！

齋藤 良子さん
（吉方）

春の日差しが心地良く、出勤の道すがらあちらこちらで農作業をする人を見かけるようになってきました。

余目第四公民館、勤務５日目の私が初めて取材にお邪魔させていただいたのは齋藤良子さんのハウスです。

ハウスでは野菜の苗づくりが行われており、所狭しと植えられた苗の中に春玉ねぎの苗（もみじ３号）を発見！春玉ねぎは７月中旬の収穫になるそうで、秋玉ねぎより収穫が１ヶ月遅くなるとのこと。管理が上手くできれば、秋玉ねぎと大きさは変わらないとおっしゃっていました。

次に、花づくりをしているハウスの中へ。とこがきれいに作られ、トルコギキョウの定植が終わっていました。

「とこを作るのはじじちゃん（健市さん）の役割、管理は私がしている。苗は１本１本ピンセットで、かがみながら植えていくから足腰にくる!!」と言いながらも、嬉しそうに教えて下さいました。

そんな良子さん、お嫁にきたのは昭和４７年。なんと！今年で結婚４８年だそうです！！！（→ おめでとうございます♥）

平成１３年にお家の農業に専念。この頃に、ハウスを増やして苗づくりを始められました。今では野菜の特性も熟知されていて、取材中は終始、良子先生による苗育て講座になっていました。

「ここんちの（苗）がいっけぇー」と言ってもらえたり、１本でも多く花が咲くと嬉しい！と笑顔でやりがいをおっしゃっていました。

苗づくりは、１人でも欲しいと言われれば作っている！良子さんの熱心さと人柄に私の緊張もどこへやら、笑いが絶えず自分も楽しみながら取材を終えました。

わたしから見た 和合の里

前 庄内町立余目第四小学校
教諭 **尾﨑 幸**

和合の里（の人）との初めての出会いは、今から〇十年前の中学生の時でした。その頃は和合中学校があり、和合中の卓球部は庄内地区でも強豪校でした。私は、試合で直接対戦したことはありませんでしたが、先輩たちを苦しめる紫色の鉢巻きをした選手の鋭いスマッシュに驚いたことを覚えています。

それから十数年経って、私は余目第三小学校に勤務しました。１年目、６年生の担任となり連合運動会で第四小学校の子ども達と出会いました。黄色い鉢巻きをした子たちは、体格が良く人数も多かったので、入場行進する姿に迫力がありました。競技でも活躍する子が多く「四小の子は、体力があってたくましいな」と感じました。

平成27年からは、第四小学校にお世話になりました。赴任当時、低学年を担任していましたので、「たくましい」というよりは、「人なつっこくかわいらしい」という印象でした。しかし、少しくらい風が吹いてもグラウンドで元気に遊ぶ姿や、毎日長い道のりを歩いて登下校する姿に、たくましさを感じました。和合の子は今も人にやさしく接することができるたくましい心を持った子たちです。

鳥海山と広々とした水田の風景のなか、のびのび育つ子どもたち。地域の皆さまが大切に守ってこられた宝物ですね。子ども達の輝く未来と和合地区の発展を、心よりお祈りしています。大変お世話になりました。ありがとうございました。

パパとママにインタビュー

はやくおっきくなれの～！

Q1. 名前の由来は？　Q2. 今一番の興味やはまってることは？　Q3. 最近記憶に残ったエピソードは？
Q4. パパママの失敗談（子育てあるある）　Q5. パパママからのメッセージ

佐藤 緒海（つぐみ）ちゃん（大真木）
令和元年８月22日 生まれ
パパ：裕人（ひろと）　ママ：智美（ともみ）

Q1 男の子が生まれたらパパに倣って「と」で終わる名前
女の子が生まれたらママに倣って「み」で終わる名前
で考えていました。お姉ちゃんの琴海（ことみ）と
いつまでも仲良し姉妹でいられるように。

Q2 お姉ちゃんと奇声のコール&レスポンス。
お姉ちゃんを見つけると緒海が「キャー！」それに答えてお姉ちゃんも「キャー！」
これがしばらく続きます。お姉ちゃん大好き♥お姉ちゃんも妹大好き♥仲良し姉妹です。

Q3 ハイローチェアに座っている時に、大人の顔を見ながらオモチャをわざと落とします。
床に落ちないように下の方で待ち構えていると、反対の手に持ち替えて落とそうとします。何回も右に左に繰り返し持ち替える事も。

Q4 抱っこしてでかけた時に、マスクをしていたら誰か分からなかったのか、泣きそうな顔に。
「ママだよー」とマスクを外し、顔を見せると笑顔になったのは良かったのですが、マスクをしていると満面の笑みで取られるようになってしまいました。

Q5 お姉ちゃんに負けず活発な女の子になって、一緒にたくさん遊ぼうね！

渡部 双葉（ふたば）ちゃん（堤新田）
令和元年９月17日 生まれ
パパ：洋史（ひろし）　ママ：恵子（けいこ）

Q1 大地に根をはるように、たくましくすくすくと育って欲しいと願って。

Q2 離乳食を一生懸命食べてくれます。
親のスプーン運びがもたもたしていると声をあげて催促します。
周囲の食事の様子にも、じーっと興味深く見つめ、よだれが…。

Q3 静かに寝ていると思って様子を見に行くと、枕を花笠のようにクルクルと回して1人遊びしていました。目が合うと、ニッコリ。

Q4 寝返りするようになったと思ったら、あっという間に２回転、３回転するようになりました。ゴミ箱まで到達していて、あわてて連れ戻しました。

Q5 元気が一番！お姉ちゃんと一緒に元気に走り回って遊ぼうね。

庄内町保健福祉課
保健師 渋谷 麗

人生100年時代
「受動喫煙を防止しよう!!」

受動喫煙とは、自分以外の人のたばこの煙にさらされることを言い、様々な形で健康に影響を及ぼします。

望まない受動喫煙をなくしていくために「健康増進法の一部を改正する法律」が成立し、令和２年４月１日から全面施行され２人以上の多数の方が利用する施設は原則“屋内禁煙”になりました。喫煙時は周りの人や状況に配慮し、周りの人たちの健康を守りましょう。

＜受動喫煙の健康への影響＞
脳→脳卒中　　耳→中耳炎　口→歯周病
肺→肺がん、ぜんそく、COPD（慢性閉塞性肺疾患）
心臓→心筋梗塞、狭心症
目→涙、刺すような痛み、頻繁なまばたき
出産・乳幼児→早産、乳幼児突然死症候群

＜これでは防げない！受動喫煙＞

●空気清浄機があれば大丈夫？
たばこの煙の成分の多くは気体であり、空気清浄機を素通りしてしまうため、有害成分を取り除くことはできません。

●ベランダで喫煙すれば大丈夫？
サッシや窓の隙間から煙が流れ込むほか、喫煙者の吐く息にも有害物質が含まれるため、受動喫煙を防ぐことはできません。

●喫煙者と席が離れていれば大丈夫？
喫煙場所から煙が流れ出ないように対策をしていなければ、受動喫煙を防ぐことはできません。

問い合わせ先　健康推進係 ☎４２-０１４７

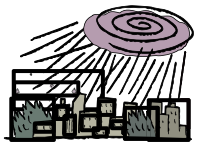
わごう駐在所
「車両水没の危険性について」

庄内警察署
佐藤 正人
（第四学区担当）

令和元年は台風19号や低気圧の発達により、全国各地で堤防の決壊や床上浸水など、水害の発生が多い年でした。庄内町には最上川・京田川が流れており、両川とも危険水域まで達するほどの大雨もありました。

（※水害の危険区域は町発行のハザードマップ参照）

万が一、車で移動中に水害に遭った場合は、次の点に気をつけて下さい。



①ひまわりくぐろーど等のアンダーパスや浸水している道路は通らない

水深が約60㎝になると車は止まってしまいます。これくらいは大丈夫だろうと無謀に突っ込んでいくのは非常に危険です。

アンダーパスの場合は、浸水時の側面に危険ラインが引かれてありますが、それ以下でも水が溜まっている場合は車で通行しないようにしましょう。

②水没した車は、水圧によりドアは開かなくなる

車が水没し、車内に水が入っていない場合は水圧でドアが開かなくなります。

その場合は、

○ 後輪が浮いている状態なら水圧が掛かっていないドアから脱出する。

○ 脱出用ハンマー（シートベルトも切断できる物が良い）を常備する。

○ ドア（サイド）ガラスを割って脱出口を確保する。

○ ガラスが割れなければ慌てずに、車両内部がドアの上部付近まで浸水し、内外の水圧が同等になった状態でドアを開ける（スライドドアでなく、運転及び助手席）

和合の里 INFORMATION

亀ノ尾の里資料館
第90回企画展「祈り」

私たちの祖先は、自然とのかかわりの中で人の力ではどうすることもできない様々な出来事に畏敬の念を抱き、祈りをささげてきました。

今回の企画展は、庄内町の文化財に指定されている仏画や仏像と酒田市出身の画僧、市原円潭が描く仏画、計２０数点を公開します。

◆ **期間 / 5月22日(金)～ 7月26日(日)**

（※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、変更になる場合があります。）

◆ **時間 / 午前9時 ～ 午後9時**

※ 5月14日(木)、7月16日(日)は清掃のため午後１時 ～９時

◆ **入館料 / 無料**

稲種亀ノ尾選出者
阿部亀治記念
第２回 和合の里フォトコンテスト

【農村に息づく暮らしや歴史・文化風景など「和合の里」の魅力を映し出す1枚】

◆ 募集規定

（1）部　　門　　ア. 一般の部　　イ. 小学生の部

（2）応募作品

①作品は額装して裏面に展示用のひもをつけて応募してください。

②未発表の作品。同一または類似作品が他のコンテストに応募中・応募予定ではなくかつ過去にほかのコンテスト等で入賞していないものに限ります。

③デジタルカメラ、スマートフォンで撮影したものとします。

④合成写真、著しく画像処理・加工した作品は不可とします。

⑤**応募点数は一人２点までとします。**

（3）サイズ

ア. 一般の部　カラープリントの四切ワイドもしくはA4（インクジェットプリント可）

イ. 小学生の部　カラープリントのキャビネ版

（4）応募資格

日本国内居住の方で、アマチュアに限ります。

◆ 応募期間　令和２年９月16日(水)～ ９月30日(水)(必着)

編集後記

今年は暖冬で雪も少なかった分、桜も早い開花で春の陽気に気持ちが外へ向きがちですが、家族のために、自分と関わり合う誰かのために家の中で過ごす事を選ぶ、あるいは強いられている日々が続いています。先行きが全く見えてこない、どうなるのかわからない中での生活は不安でしかありません。その不安や悲しさ、寂しさに、日常に“当たり前”はないのだと身をもって実感させられます。

「ありがとう」の語源は「有り難し（ありがたし）」＝“あることがむずかしい、滅多にない”という意味なのだそうです。毎日、当然のように呼吸をして、そして生きて生活を営んでいる。この繰り返しの毎日に“有難う”の気持ちを感じずにはいれないですね。

2020.5.15 発行
編集発行　和合の里を創る会　TEL0234-44-2162　FAX0234-44-2169　E-mail koumin-4@bz04.plala.or.jp　印刷　富士印刷株式会社